

たま通信

(番外編)

平成17年5月25日 医療法人いちろ会 小児クリニックたまなは

最近流行しています**手足口病**についてお話しします。

病気のあらまし

手足口病は、夏風邪を起こすウィルスの仲間、エンテロウィルスの感染が原因です。1種類でなく何種類かのウィルスが関与しています。従って、数回かかることがあります。

潜伏期間は3～5日くらいで、手のひら、足の裏、口の中に米粒大の水疱が特徴です。時にはお尻や肘・膝の裏にもできます。乳幼児が一般的ですが、大人もかかります。

水疱は痛みや痒みもなく、熱が出ても微熱程度で比較的元気です。ただ、口の中の水疱(口内炎)が強いことがあり、痛みで食欲が落ちることがあります。

極めてまれですが髄膜炎が報告されていますが、未だかつて私は経験がありません。

治療

軽い病気なので特に治療は行いません。抗生物質は効きません。但し、口内炎が強い子には、痛み止めのシロップを処方しています。薄味のしみない飲料、やわらかい食べ物を与えてください。

その後

症状は5～7日で治りますが、ウィルスの排泄期間が長く、鼻水・唾液から1～2週間、便からは3～5週間排泄されます。

従って、休園・休校で感染を予防することは困難であり、あまり厳密に隔離することは無意味とされます。**一応、発疹(水疱)があっても他の症状が軽ければ登園・登校可としています。**

保育園では特にオムツ替え時、便の処理に気をつけて、**手洗い**はしっかりやって下さい。患いのよだれ、鼻水にも注意が必要です。